

# 保護者の方向け 吃音についてのお話 Part 1

吃音とは、「連発」「伸発」「難発」という言語症状により発話が非流暢な状態です。2～4歳代で吃音が始まることが多いといわれています。

## 1. 症状

主な言語症状は3つといわれています。

①連発：音の繰り返し

例) 「き、き、き、き、きたきゅうしゅう」

②伸発：音の引き伸ばし

例) 「き——きたきゅうしゅう」

③難発：音のつまり

例) 「・・・きたきゅうしゅう」



これらの症状は『波』があるといわれています。比較的、流暢に話すことができる時もあれば、ことばがつまりやすい時もあります。

## 2. 原因

色々な研究がされていますが、まだはっきりとした原因は分かっていません。

以前は「保護者の愛情不足が原因」「子育ての仕方に問題がある」と言われたこともありましたが、現代では否定されています。

### 【参考文献】

- 加藤正子・竹下圭子・大伴潔（2012）『特別支援教育における構音障害のある子どもの理解と支援』学苑社 pp.225-246
- 菊池良和（2015）『吃音のことがよくわかる本』講談社